

一級自動車工学科			2026年度 授業計画		
時 期	3年後期	単元	実習	教科名	A/T
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	日産 2 級TSテキスト AT編		発行日
			日産 3 級TSテキスト AT編		
総時限	41時限				
必須時限	41時限				
1. 指導教員の実務経験 該当 非該当					
自動車整備士としてシャシ系統全般の整備の実務経験がある教員により電子制御A/Tの各制御および、故障探求について指導する。					
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）					
1. FF用 4 速 A T の仕組みを理解する。 2. A T の電子制御を理解する。 3. フェイルセーフを理解する。 4. 故障探求の方法を理解する。 5. 人前で成果を計画的に発表できるようになる。					
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）					
1. 電子制御ATの各制御を理解する。 2. 現象を確認して正常・異常の判断ができる。 3. 現象から不具合の原因を推定できる。 4. 現象にしたがって適切な箇所を点検、測定できる。 5. 点検結果の良否判定ができる。 6. 不具合箇所の特定ができる。 7. 他の学生の意見や考え方も認識し、自己研鑽できる。					
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）					
・実習履修試験で評価する。実習履修試験は40分間で実施する。 実技試験により100点満点で評価する ・合格点：70点以上 80点以上：優 70点以上：良 70点未満：不可 ・不合格の場合、再試験を受験し、70点以上で合格とみなす。 再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。 ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。					
5. 準備学習					
・「日産2級TSテキスト AT編、日産3級TSテキスト AT編」の内容を予習しておくこと。					

一級自動車工学科

2026年度 授業計画

時 期	3年後期	単元	実習	教科名	A/T	
5. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					6. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	A T 概要				日産 2 級TSテキスト AT編	学生持参
2	A T 概要				日産 3 級TSテキスト AT編	学生持参
3	油圧回路				車両 F F（4速）	5
4	油圧回路				輪止め	10
5	油圧回路				コンサルトⅢ	10
6	油圧回路				オシロスコープ	10
7	E C Uの制御				デジタルサーキットテスタ	10
8	E C Uの制御				点検 & 断線BOX	5
9	センサー解説				リジトラック	20
10	センサー解説				コーン	20
11	センサー測定				ガレージジャッキ	4
12	センサー測定					
13	センサー測定					
14	センサー測定					
15	センサー測定					
16	センサー測定					
17	アクチュエータ説明					
18	アクチュエータ説明					
19	アクチュエータ測定					
20	アクチュエータ測定					
21	アクチュエータ測定					
22	アクチュエータ測定					
23	アクチュエータ測定					
24	アクチュエータ測定					
25	フェイルセーフデータ確認					
26	フェイルセーフデータ確認					
27	フェイルセーフデータ確認					
28	フェイルセーフデータ確認					
29	フェイルセーフデータ確認					
30	故障探求					
31	故障探求					
32	故障探求					
33	成果発表 フィードバック					
34	故障探求					
35	故障探求					
36	故障探求					
37	故障探求					
38	故障探求					
39	故障探求					
40	故障探求					
41	期末試験					